

「伊良部島へんみゃーち」

宮古島市立伊良部小学校 4年生 富谷 耀

ぼくが住んでいる伊良部島は、海がきれいで、毎年たくさんの人が、観光に来ます。

渡口の浜や、佐和田の浜、通り池等、たくさんの観光スポットがあります。

どこまでも続く白い砂浜、手にとるとさらさらとして細かい砂、エメラルドグリーン的大海、ぼくは、この伊良部島の海が大好きです。

ぼくの両親は、ダイビングのインストラクターをしています。二人とも真っ黒に日やけした顔から、白い歯を見せ笑顔いっぱい輝いています。

遠い伊良部島まで来てくれるお客さんに、ダイビングスポットを案内します。

ぼくが

「今日は、どんなお客さんだった？どんな所に行ったの？」

と聞くと、

「中の島チャネルに行ったよ。きれいな所だよ。魚がいっぱいて、おくの方に行くときたくさんの魚の群れにあって感動したよ。お客さんにも喜んでもらえたよ。」

と、キラキラ笑顔で話してくれます。

ぼくは、二人ともダイビングの仕事が本当に、好きなんだなあと思います。それ以上に伊良部島が大好きなんだと思います。

ぼくの両親は、この伊良部島の自然を守るために、頑張っている事が二つあります。

その一つは、オニヒトデ退治です。両親の所属しているチームの、オニヒトデ退治のおかげで、毎年オニヒトデの数がへっています。

海の中のサンゴは、キラキラ光り、きれいだそうです。サンゴや熱たい魚を守るため、オニヒトデ退治に頑張っています。

二つ目は、砂浜や海の清掃です。たくさんのゴミが、海の中や砂浜に捨てられており、それをみると悲しい気持ちになるそうです。

つりざおやつり糸、ペットボトル、弁当箱のから、紙くず等がたくさん捨てられているそうです。

ぼくは、きれいな海を見たり、遊んだりした後に、どうしてゴミを捨てていくのか、信じられません。

ぼくの大好きな佐和田の浜は、日本のなぎさ百選にも入っているので、いつまでもきれいにして、守っていきたいです。

ぼくは、海が大好きで、海の近くで育ち、大好きな海で将来は、ダイバーになりたいです。両親みたいなダイバーになって、たくさんの人々に、伊良部島の海を案内したいです。

島のいい所を、世界中の人々に紹介して、いやしてあげたいです。

そのために、今は両親の仕事をみながら学び、プールにも通って水泳のレベルも向上させています。

島のよさや、人々とのつながりを大事にして、きれいな伊良部島を世界中に発信していきたいです。来年には、伊良部大橋も完成します。みなさん、伊良部島へんみゃーち。